

SF における語と指示対象の関係 —意味の理論と翻訳可能性—

原田 康也

早稲田大学法学学術院 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

E-mail: harada@waseda.jp

あらまし 本稿では SF における語と指示対象の関係について意味の理論と翻訳可能性の観点から考察することを試みる。

キーワード Science Fiction, 語, 指示対象, 翻訳可能性

Reference and Referents in Science Fiction Stories, Novels and Films —The Theory of Meaning and Translatability of Imaginary Worlds—

Yasunari HARADA

Faculty of Law, Waseda University 1-6-1 Nishi-Waseda, Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050, Japan

E-mail: harada@waseda.jp

Abstract This paper aims to discuss relationships between words and its referents, focusing on expressions in science fiction stories and novels and films.

Keywords Science Fiction, Word, Lexical Item, Reference, Referent, Linguistic Relativity, Effability, Translatability

1. 本稿の位置づけについて

本稿は 2018 年 12 月 14 日～16 日に早稲田大学情報教育研究所・早稲田大学言語情報研究所主催で早稲田大学にて開催予定の 2018 科研費合同研究集会@早稲田大学の第 2 日目「シンポジウム：高度翻訳知識に基づく高品質言語サービスの研究」での口頭発表用資料として、関連した断想と関連資料からの引用を取りまとめてある。言語学上の研究論文や翻訳に関する論考について十分整理する時間もなく、公刊された SF の原著と翻訳をつき比べる時間が十分にないまま、記憶と思い込みとネット上の怪しげな情報を元に執筆しているため、上記シンポジウム参加者に限定して領布するものとし、第三者への譲渡・貸与・複写等はすべて不許可とする。また、本稿からの引用についても原則として不可とするが、引用の趣旨・目的に応じて検討する可能性もあるので、著者に問い合わせていただきたい。

2. 指示と意味

本稿では単語とその単語が言及ないし指示する対象との関係を出発点として議論を始める。言語理論としての意味論的観点からは、「単語の意味」をこのように捉えることは合理的でないということを示す多くの圧倒的「論拠」があるが、外国語の学習や幼児・小児

の言語獲得・言語習得などにおいては、このような単純な考え方方が有効な場面もある。

言語研究・外国語教育の専門家は、ことばの意味や用法やその社会的機能よりはことばの形そのものに注意を向けすぎる傾向があり、reference についての次のような警句に耳を傾けるべきである。

It is like a finger pointing away to the moon. Don't concentrate on the finger or you will miss all that heavenly glory.

<https://www.youtube.com/watch?v=LH1GFaw09hk>
Finger Pointing to the Moon - Bruce Lee

3. 蕪薺鯛の名前

語彙・語義の体系と称して実態としては名詞を中心とする語彙の指示対象の体系を基盤として、引き戻しによって見かけ上語彙の体系化を行う例も多々見られる。国立国語研究所資料集 14『分類語彙表：増補改訂版』はこうした体系化の一つとみることができるが、このようなアプローチが常に適切な分類に至るかどうかは慎重に検討する余地がある。動物学・植物学上の知見に基づく分類と歴史的・文化的背景に基づく食品・食材の分類に異同があることはよく知られているとおりで、例えばトマトについて Wikipedia には以下の記述がある。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%88%E3%83%9E%E3%83%88>

1893 年当時のアメリカでは輸入の際に果物への関税がなく、野菜には関税が課せられていた。このため、トマトの輸入業者は、税金がかからぬいように「果物」と主張。これに対して農務省の役人は「野菜」だと言い張った。両者は一歩も譲らず、さらに果物派には植物学者も加わり、論争はエスカレート。とうとう、米国最高裁判所の判決を仰ぐことになってしまった。判決は「野菜」。裁判長は随分悩んだと思われ、判決文には「トマトはキュウリやカボチャと同じように野菜畑で育てられている野菜である。また、食事中に出されるが、デザートにはならない」と書かれていた(英語版記事)。なお、裁判当時の記録としてローラ・インガルス・ワイルダーの小説『大草原の小さな家』では、トマトにクリームと砂糖をかけて食べる記載がある。なお、Pocket Oxford English Dictionary(2005年版)の tomato は 'a glossy red fruit, eaten as a vegetable or in salads.' とどちらとも取れる記述になっている。

...

韓国ではトマトは果物の一種と考えられることも多く、輪切りにしたものに砂糖をまぶして食べるのがありふれた食べ方のひとつである。中国や日本においても砂糖をまぶす場合がある。

食材となる動植物の名称の体系化に関して、その生物種に基づく分類が必ずしも有用な結果をもたらさないことは、日本における出世魚の存在によっても明らかとなる。地方・地域による呼び名の違いも合わせて、その名称がかなり複雑な様相を呈することもある。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%87%BA%E4%B8%96%E9%AD%9A>

ボラは、条鰓綱 ボラ目 ボラ科に属する魚

代表的な呼び名

オボコ {スバシリ} →イナ→ボラ→トドと、3回名称を変える。

マイワシ

イワシは、条鰓綱ニシン目ニシン科に属する魚

代表的な呼び名

シラス→カエリ→コバ→チュウバ→オオバ
シラス：白子、稚魚、1cm 未満 (マシラスとも)

カエリ：若魚、数 cm (アオコ、ヒラゴとも)

コバ：小羽、10cm 前後

チュウバ：中羽 15cm 前後

オオバ：大羽 20cm 前後

Red snapper が生物種として何を指すか、例えば次のようなブログ記事がある。

<https://blogs.yahoo.co.jp/advamed2008/21645272.html>

レストランに行って、メニューで魚料理を見ていると red snapper と grouper、この二つの魚をよく見かけます。

red snapper は、フエダイ科の魚ですが日本で食べられるフエダイ (*Lutjanus stellatus*) とは別の種類 (*Lutjanus campechanus*) です。

外見的にはこういう魚で、肉は白身ですがフエダイ科の魚は、いわゆる「あやかり鯛」で、鯛に似ています。なんちゃって系の日本料理店では、鯛として握られているようです。

一方、grouper は日本ではハタといわれる魚の仲間で、こういう外見です。

やはり自身の魚なんですが、これは握りずしあかはなくグリルとかで出されることが多いんじゃないですかね。

<https://blogs.yahoo.co.jp/advamed2008/21686899.html>

昨日の記事で、アメリカのレストランでよく見る red snapper という魚が、フエダイの一種であることを書いたところ、

「red snapper は鯛だと思っていました」

というコメントを複数の方からいただきました。これについては、昨日の記事にあえて書かなかつたのですが日本語における「鯛」という言葉のあいまいさが背景にあります。

日本語の「鯛」の意味には、最狭義、狭義、広義、最広義の 4 段階があります。

最狭義の意味の鯛は、いわゆるマダイのことです。ちなみに英語でいうと red sea bream です。

最狭義よりもちょっと範囲が広い狭義の鯛には、タイ科の魚、つまりマダイのほか、クロダイ、キダイ、チダイなどが含まれます。

広義の鯛は、タイ科を含む「スズキ目」の魚で、具体的には、フエダイ、イシダイ、イトヨリダイ、イボダイ、アマダイなどです。

red snapper はこのレベルの鯛に含まれます。スズキ目ですから。

最広義の鯛は、スズキ目ですらないキンメダイ、アコウダイ、イットウダイなどでタイとは生物学的に関係がなくとも、色が似ているとか、味がいいとかいう理由で「～鯛」という名前がつけられ

ているものです。

ということで、red snapper はレベル 3 の意味で鯛に含まれるということですね。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AF%9B>

日本では一般的に高級魚として認知されているが、日本人以外の民族で、この魚を「魚の王」とみなしている例はほぼ皆無である。タイ科にはマダイの他に、クロダイ、キダイ、チダイ、ヒレコダイ、タイワンダイ、アカレンコ型・赤っぽい体色・自身などの特徴を持つ魚には「-ダイ」と和名がついていることが多く、この場合、タイ科とは分類上遠い魚もいる。アマダイ、キントキダイ、イシダイなどはタイ科と同じスズキ亜目だが、エボシダイなどはスズキ目の別亜目、キンメダイ、アコウダイ、マトウダイなどは目のレベルでちがう魚である。このように和名にタイと名のついた魚は 200 種以上もいる。

極端な場合には淡水魚のティラピアを、その学名ティラピア・ニロチカから「チカ鯛」などと命名したり、「イズミダイ」と称して販売されていたこともあった。こうしたものは「あやかりタイ」と揶揄される。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%A9%E3%83%94%E3%82%A2>

日本に導入されたティラピアと呼称される魚は、シクリッド科（カワスズメ科）のナイルティラピア (*Nile tilapia*、*Oreochromis niloticus*)、カワスズメ（モザンビークテラピア、*Mozambique tilapia*、*Oreochromis mossambicus*）、ジルティラピア (*Tilapia zillii*) で、第二次世界大戦後の食糧危機においてタンパク源として注目された。

このうち食用として普及したのはナイルティラピアで、流通名は「イズミダイ」又は「チカダイ」と呼ばれ養殖されている。流通名として高級感があるなどといった理由で付けられた名前だが、鯛類とは全くの別種で、生息環境も異なる。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AD%9A%E4%BB%8B%E9%A1%9E>

魚介類（ぎょかいるい）、魚介（ぎょかい）は、水産動物の総称。鯨などの哺乳類も含む。

まれにあるが、動物に限らず、コンブ・ワカメなどの海藻を含める場合は、水産物（すいさんぶつ）と同義である。

「魚」とは魚類とクジラ目のことであるが、「介」とは、古代中国の五行にもとづく動物分類で、亀・

甲殻類・貝など甲羅を持つ動物の総称である。ただし、イカ・タコ・ナマコなどは、本来は魚類でも介類でもないが、魚介類に含められる。

魚貝類（ぎょかいるい）、魚蟹類という言葉もあり、魚介類の単なる書き間違いのこともあるが、それぞれ文字どおり「魚類と貝類」「魚類とカニ類（或いは甲殻類）」と解釈されることもある。

食物としてのシーフードを指すこともある。

シーフード（英語: seafood）は、直訳すると「海の食物」であり、食材としての海産の動物を示す。なお、イギリス英語では淡水産の動物をあわせて称することがある。調理用語としてはほぼ「魚介類」と同様の使われ方をする。

水産物

行政、産業界や食品関係では水産物（すいさんぶつ）という物のくくりが使われることがある。

農林水産省の告示した生鮮食品品質基準[2]においては、生鮮食品中の水産物について、次を挙げている。

魚類

貝類

水産動物類（甲殻類、かめなど）

海産ほ乳類（鯨など）

海藻類

水産物中では、海産のものに限って海産物（かいさんぶつ）とし、湖沼産や河川産のものを淡水産物（たんすいさんぶつ）と区別することがある。

養殖された水産物を養殖水産物と称し、それ以外の水産物を天然水産物として区別することがある。

水産物は、生鮮食品についていう場合が多いが、加工した後の物品も、水産加工物、あるいは加工水産物と称することがある。

農産物、林産物と合わせて農林水産物と称することもある。

<https://en.wikipedia.org/wiki/Seafood>

Seafood is any form of sea life regarded as food by humans. Seafood prominently includes fish and shellfish. Shellfish include various species of molluscs, crustaceans, and echinoderms. Historically, sea mammals such as whales and dolphins have been consumed as food, though that happens to a lesser extent in modern times. Edible sea plants, such as some seaweeds and microalgae, are widely eaten as seafood around the world, especially in Asia (see the category of sea vegetables). In North America, although not generally in the United Kingdom, the

term "seafood" is extended to fresh water organisms eaten by humans, so all edible aquatic life may be referred to as seafood. For the sake of completeness, this article includes all edible aquatic life.

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%AB>

生物分類上はイルカとクジラに差はない。むしろ、ハクジラとヒゲジラとの差の方が生態的にも形態的にも違いが顕著である。しかし世界的にも日常語レベルでは両者は別のカテゴリーとして認識され、別の名で呼ばれることが多い。

日本語では、成体の体長でおよそ 4m をクジラとイルカの境界と考えることが多い。これは定義ではなく、実際に○○クジラ、○○イルカと呼ばれている種の体長から帰納した傾向に過ぎず、4m 基準に当てはまらない種もある。例えば、コマツコウやゴンドウクジラのような 4m に達しないがクジラと見なされる種も多い。ただしゴンドウクジラはマイルカ科であり、まれにイルカとされることがある（ゴンドウクジラ#特徴も参照）。またイッカク科のシロイルカは、和名に「イルカ」とついているが、成体は 5m に達しクジラと見なされることが多い。

英語での“Dolphin”と“Whale”的呼称の区別は、日本語の「イルカ」と「クジラ」の区別とほぼ共通する。例えば小型ハクジラ類のうちゴンドウクジラについては英語では“Whale”と呼びクジラとして扱う点で日本語と共通する。ただし、日本語で「イルカ」と呼ばれる種のうちネズミイルカ科のものは、英語では“Porpoise”と呼んでいて、“Dolphin”とは区別している。

4. 翻訳における調整

4.1. 概念階層のレベル調整

ジャン・ギャバンがタバコを吸うか、ほかの登場人物にタバコを進めるシーンで字幕にいきなり「バット」が出てきて驚いたことがある。冷静に考えると、Gauloise の翻訳として「ゴールデンバット」の通称系の「バット」を選ぶというのは極めて優れた言語的線セスである。一方、Peter Bogdanovich の *Last Show* では、登場人物の少年が知り合いの夫人に “Give me Dr. Pepper.” という場面で「コーラ」と訳していた。ここでは、「清涼飲料水」というジェネリックな単語では会話の中に納まらない。一方で、野口幸男がある作品の翻訳で登場人物がシャワーを浴びるシーンで water を「しづく」と訳したのは、これまた適切な語彙の選択と言えよう。

5. 言語論・翻訳について注目すべき作品

5.1. 世界の合言葉は森

SFの中には文化人類学・言語人類学的な知見を背景とした作品もある。例えば、Ursula K. Le Guinn の *The Word for World is Forest* はそのような作品の典型例である。作品のタイトルは「現地語で世界を表すことば」は「現地語で森を表すことば」である、という趣旨を英語で表現したものであり、それをさらに日本語に翻訳すると、よくわからない日本語になってしまっている。「世界をあらわす言葉は『林』」といったタイトルが作品としてインパクトに欠ける可能性も考えられる。ちなみに、21世紀に入ってすぐの3D映画ブームの先駆けとなった *Avatar* がこの作品に多大な影響を受けていることは周知の事実である。近年公開された *Arrival* は未見だが、言語相対性仮説にかかるテーマが描かれている模様である。

5.2. To Serve Man

いわゆるファースト・コンタクトのテーマと言語にかかる作品としてはテレビドラマシリーズ *The Twilight Zone* のエピソード *To Serve Man* もよく知られている。

[https://en.wikipedia.org/wiki/To_Serve_Man_\(The_Twilight_Zone\)](https://en.wikipedia.org/wiki/To_Serve_Man_(The_Twilight_Zone))

To Serve Man (The Twilight Zone)

“To Serve Man” is episode 89 of the anthology series *The Twilight Zone* (1959 TV series). It originally aired on March 2, 1962 on CBS. The episode was written by Rod Serling and Richard L. Bare and directed by Bare.

The story is based on the 1950 short story “To Serve Man”, written by Damon Knight. The title is a paraprosdokian using the verb serve, which has dual meanings of “to assist” or “to provide as a meal.” The episode is one of the few instances in the series wherein an actor breaks the fourth wall and addresses the viewing audience at the episode’s end. The episode, along with the line “It’s a cookbook!” have become elements in pop culture.

5.3. 華氏 451 度

Firemen 焚書官と訳してしまっては完全なネタバレ翻訳になってしまふ。

5.4. 夏への扉

家事用ロボットに対する「文化女中器（ハイヤード・ガール、Hired Girl、福島正実による訳語）」（<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%8F%E3%81%B8%E3%81%AE%E6%89%89> による）は文化包丁・文化鍋・文化釜・文化住宅全盛の昭和30年台には許された

かもしれないが、今日では PC 的に許されないであろう。

<http://blog.livedoor.jp/dankogai/archives/51265089.html>
404 Blog Not Found

The requested blog was not found -- unless you requested that of Dan Kogai (小飼 弾).

事実は小説より喜なり-書評-夏への扉 [新訳版]

早川書房高橋様より、まさかの献本御礼。

asin:4152090596

夏への扉

Robert A. Heinlein / 小尾英佐訳

[原著:The Door Into Summer]

全く同じ作品なのに、これほど印象が変わることは。1988年にこの宇宙を去った著者に、見せて上げたい。我々が、どれほど遠くに来たのかを。そして、開けるべき扉が、どれほど残っているかを。

とはいいうものの、本作を「過去のもの」にしないための努力を、訳者は最大限払っている。「文化女中機」は「おそうじガール」となった。これ、原文の Hired Girl ですら死後化したといつてい。こんなセクシストな表現は、今やフィクションでも使えない。「万能フランク」も「ばんのうフランク」に。「アルジャーノンに花束を」の訳者の面目躍如である。

hired girl

〔女性の〕お手伝いさん◆特に農家の雑用の

<https://eow.alc.co.jp/search?q=hired+girl>

<https://www.poetryfoundation.org/poems/44954/our-hired-girl>

Our Hired Girl

By James Whitcomb Riley

<http://historymatters.gmu.edu/d/5323>

“Experiences of a ‘Hired Girl’”: An Early Twentieth-Century Domestic Worker Speaks Out

This anonymous worker articulated common grievances of domestic workers in her 1912 article in *Outlook* magazine. A veteran of thirty-three years of household labor, she protested the unsystematic work and arbitrary supervision of domestic service, the most common category of female employment until World War II. She advised, “If the mistress of the house . . . would treat housework like a business, and treat their maids like the employees of a business, many of the problems of domestic service would be

solved.” Explicitly comparing domestic service and industrial work, this writer articulated the reasons that young women increasingly left household labor for the regular wages, fixed hours, and less intrusive supervision of factory jobs.

5.5. 火星のプリンセス

Under the Moons of Mars 火星の二つの衛星は moon なのか、Phobos と Deimos なのかというのも悩ましい問題である。

以下の記述を見ると moon と satellite のデフォルト的な解釈が時代とともに・世界観と常識の変化とともに変わってきたことがわかる。これは language のデフォルト的解釈がコンピュータサイエンスと言語学で微妙にずれ、computer science で language といえば programming language を指し、人間の言語は natural language という事情と似ているかもしれない。

https://en.wikipedia.org/wiki/Natural_satellite

A natural satellite or moon is, in the most common usage, an astronomical body that orbits a planet or minor planet (or sometimes another small Solar System body).

Terminology

The first known natural satellite was the Moon, but it was considered a “planet” until Copernicus’ introduction of De revolutionibus orbium coelestium in 1543. Until the discovery of the Galilean satellites in 1610, however, there was no opportunity for referring to such objects as a class. Galileo chose to refer to his discoveries as *Planetæ* (“planets”), but later discoverers chose other terms to distinguish them from the objects they orbited

The first to use of the term satellite to describe orbiting bodies was the German astronomer Johannes Kepler in his pamphlet *Narratio de Observatis a se quatuor Iouis satellitibus erroribus* (“Narration About Four Satellites of Jupiter Observed”) in 1610. He derived the term from the Latin word *satelles*, meaning “guard”, “attendant”, or “companion”, because the satellites accompanied their primary planet in their journey through the heavens.

The term satellite thus became the normal one for referring to an object orbiting a planet, as it avoided the ambiguity of “moon”. In 1957, however, the launching of the artificial object *Sputnik* created a need for new terminology. *Sputnik* was created by Soviet Union, and it was the first satellite ever.[6]

The terms man-made satellite and artificial moon were very quickly abandoned in favor of the simpler satellite, and as a consequence, the term has become linked primarily with artificial objects flown in space – including, sometimes, even those not in orbit around a planet.

Because of this shift in meaning, the term moon, which had continued to be used in a generic sense in works of popular science and in fiction, has regained respectability and is now used interchangeably with natural satellite, even in scientific articles. When it is necessary to avoid both the ambiguity of confusion with Earth's natural satellite the Moon and the natural satellites of the other planets on the one hand, and artificial satellites on the other, the term natural satellite (using "natural" in a sense opposed to "artificial") is used. To further avoid ambiguity, the convention is to capitalize the word Moon when referring to Earth's natural satellite, but not when referring to other natural satellites.

Many authors define "satellite" or "natural satellite" as orbiting some planet or minor planet, synonymous with "moon"—by such a definition all natural satellites are moons, but Earth and other planets are not satellites. A few recent authors define "moon" as "a satellite of a planet or minor planet", and "planet" as "a satellite of a star"—such authors consider Earth as a "natural satellite of the sun".

5.6. アンドロイドは電気羊の夢を見るか

Philip K. Dick は初めての読者に理解不能な独りよがりの新語・略語・略称を頻出させる作家である。たとえば、映画 *Blade Runner* では replicant の名称でロボット・アンドロイドが言及されていたが、*Do Androids Dream of Electric Sheep* では sims の名称が使われている。多くの短編小説において sims (simulacra) をロボットに類する意味で使い、autofac を頻出させているのも独自の用語法である。

Clans of the Alphane Moon においては Pares, Manses, Skitzes, Heeb, Polys, Ob-Coms, Deps がある種のカーストをなしているが、それぞれ paranoid, mania, schizophrenia, hebephrenic (disorganized schizophrenia), schizophrenia, obsessive-compulsive disorder, clinical depression に由来することが理解できるのは、物語を半分以上進んだころである。

Dr. Bloodmoney には Phocomelia に由来する Phokies という蔑称が頻出する。

Urban Dictionary

<https://www.urbandictionary.com/define.php?term=oakie>

oakie

The second to lowest possible social level for a white person. Second only to trailer trash. People who collects hub caps and hang them on their house or fence, tape their windows instead of replacing them, and have a large collection of random shit scattered in their yards, in a seemingly organized chaos. They are generally a bit more shifty and withdrawn.

Run and git that hub cap, son. We'll give it to that family up the crick. They's good people, just oakies.

#oakey#white trash#trailer trash#low life#poor
by Naomi_A July 24, 2008

5.7. 銀河帝国の興亡

1960 年代末に読んだ創元推理文庫版銀河帝国興亡史（ファウンデーション）シリーズの中で、心理歴史学者ハリ・セルダンが「計算尺」を使って歴史から未来を計算する場面が描写されていることを記憶していたが、1970 年代に日本橋の丸善で洋書コーナーに文学作品の朗読もののレコードが並んでいて、その一つのライナーノーツのようなところに、Isaac Asimov 自身の言葉として calculator の使用を予測して小説に使ったのは私が最初だ、という部分があり、「計算尺」という翻訳が間違っていたことに気が付いた。

ちなみに、電子卓上計算機を商品化したのは日本のカシオをはじめとするメーカーで、大修館から発行されていて現在は「休刊」となっている月刊言語の広告を見ると、1970 年以降の電子卓上計算機の機能と値段がまさにムーアの法則を忠実に反映していたことを思い知らされる。

5.8. Videodrome:SF における比喩的表現

I am my father's screen.

The screen is the retina of the minds' eye.

Whatever appears on the television screen emerges as raw experience for those who watch it.

Television is reality and reality is less than television.

Soon, all of us will have names, names designed to make the cathode ray tube to resonate.

5.9. Star Wars

*May the force be with you.*を「あなたが理力とともにありますように」と訳したのは誰か。

https://en.wikipedia.org/wiki/The_Force

The Force

From Wikipedia, the free encyclopedia

The Force is a metaphysical and ubiquitous power in the Star Wars fictional universe. It is wielded by characters throughout the franchise: heroes like the Jedi use the "light side" of the Force, while the Sith and other villains exploit the "dark side". The Force

has been compared to aspects of several world religions, and the phrase "May the Force be with you" has become part of the popular culture vernacular.

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%82%B9_\(%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%BB%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%82%BA\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%82%B9_(%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%BB%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%82%BA))

フォース (スター・ウォーズ)

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

1977年のシリーズ公開第1作目『スター・ウォーズ』の劇場公開時には、字幕などに「理力（）」という訳語が充てられたが、近年では使われない。

6. SFにおける世界の叙述

	存在論的前提あり	存在論的前提なし
直説法	ハードサイエンス	SF
条件法	SF以外の文学作品	数学・形式論理学

If all time is eternally present, all time is unredeemable.

T. S. Elliot, *Burnt Norton*

Eternity ended and infinity began.

Isaac Asimov, *The End of Eternity*,

<https://plaza.rakuten.co.jp/rin5toiti5/diary/201202060000/>

模造記憶・P・K・ディック (新潮社版)

たとえばこの本ですが、11もの短編が詰まっています。こういう短編は、読むのが難しい。訳す先生は普通の先生 SFを書くのは SF頭の先生。読む私たちは SF的に訳してほしい。できれば、自分で訳してみたい。どれもこれもよ～く読めば、面白い。でも、読者が必死に理解しようがんばる様はリスが走っているかごのにおもちゃのようで、作者のディックはそれを見越して書いたのでは？

7. 誤解に基づく翻訳

7.1. はざまの世界

ワステスというので何のことかと思ったら Wastes であった。定期船がどこから見えるのかと思ったら定期便であった。

7.2. 私はカモメ

宇宙酔いを意図した space sickness を宇宙病と訳す時代が長く続いた。朝日新聞は故意か錯誤によって Ya

Cchaika を「私はカモメ」と訳した。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AF%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%81%E3%83%8A%E3%83%BB%E3%83%86%E3%83%AC%E3%82%82%E7%8E%82%E3%83%AF>

旧ソ連や現在のロシアでは、宇宙活動中の全ての飛行士が個人識別用のコールサインを付与され、テレシコワは「チャイカ」（Чайка、カモメの意）が与えられた。打上げ後の «Я—Чайка»（ヤー・チャイカ、「こちらチャイカ」の意）という応答が女性宇宙飛行士の宇宙で発した最初の言葉となり、日本ではチエーホフの戯曲『かもめ』で用いられる同様の台詞「私はカモメ」と結びつけて紹介され、ミッションの代名詞として広く知られた。

野口聰一氏が語る宇宙飛行士の歴史。「地球は青かった」「私はカモメ」「人の搖籃」の意味

<https://japanese.engadget.com/2014/08/30/astronauts/>

続いて女性初（民間人で初でもある）の宇宙飛行士である ワレンチナ・テレシコワ の写真を紹介。こちらも有名な「私はカモメ」というコメントですが、（宇宙博 2014 の主催者に朝日新聞社が含まれていることもあり）当時の朝日新聞の縮刷版にも確認されていることを紹介。

当時のボストーク宇宙船にはそれぞれコールサインを自然現象ないし動物や植物から名付けることになっており、彼女の乗機は「Чайка（チャイカ=カモメ）」と名付けられていました。

野口宇宙飛行士は、意味合いとして「"Я чайка"」（ヤーチャイカ=こちらカモメ号）と言ったものが、日本に紹介される過程で「私はカモメ」、テレシコワさんが女性という事もあって詩的に解釈されたのではないか、と紹介しました。

8. データベースからの観察

65260

From farther down the corridor he could hear the children still discussing life with the Whitlock; their voices reached him as he lay on his back, holding the soldering gun above his head and reaching into the works of the Angry Janitor to keep the tip in.

廊下の向こうから、ウィットロックと人生を論じあっている子供たちの声がまだ聞こえる。床の上に仰向けてねで、ハンダ銃を頭上にかざし、筒先を"がみがみ門番"の内臓に押しこんでいるあいだも、それは聞こえた。ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 102 ページ

90752

The master circuit paused politely as Jack struggled to get the long tip of the soldering gun past the layers of wiring.
親回路は、ジャックがハンダ銃の長い筒口を、びっしりつまっている配線の中に押しこむあいだ、つましやかに口をつぐんだ。

ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 102 ページ

<https://ejje.weblio.jp/content/soldering+gun>

主な意味半田ごて

Weblio 専門用語対訳辞書での「soldering gun」の意味
SOLDERING GUN ハンダガンカテゴリ 技術用語

131165

But the policeman was leaving; the 'copter rose from the ground, and torrents of wind and sand blew around David, forcing him to turn away and put his arm across his face.
ヘリコプターがとびあがった。風と砂がデイビッドのまわりでうずまいて、彼を吹きとばしそうになったので、腕で顔をおおった。

ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 66 ページ

99283

"Are you ready for Goodmember Pardy?" his wife asked, opening the door in the professional manner that he had taught her.

「盟友パーディをお通ししてもよろしいですか？」妻のジーンが、彼が仕こんだとおりの事務的な口調で、ドアの陰から訊いた。

ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 81 ページ

95968

Under Mr. Yee's prodding scrutiny, he had left without remembering to bring his thermos of coffee, and he now felt its lack.

ミスター・イーのしつこい詮索にあい、コーヒー沸しを持ちこむことを思いつくいとまもなく出発してしまった。いまになって、それが悔まれる。

ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 16 ページ

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%A2%E3%82%B9>

サーモスというブランド名は、1904 年にドイツのベルリンで設立されたテルモス有限会社 (THERMOS GmbH) に由来する。同社は世界で初めて真空断熱魔

法瓶を製品化したことで知られる。テルモスという名前は公募で決められたもので、ギリシャ語で「熱」を意味する "Therme" に由来する。1907 年には、イギリス、アメリカ、カナダでも、テルモス有限会社から商標を譲り受け、同製品を販売する会社が設立された[3]。英語圏でも急速に普及し、この製品は魔法瓶の代名詞としてサーモスと呼ばれた。

91043

He saw seated inside it a heavy-set man with a bald head, a well-fed, self-satisfied-looking man who gazed out sourly, paying no attention to the five Bleekmen.

禿頭の、栄養のいきわたった、恰幅のよい、自己満足にひたりきっている男が、渋面を作つて外を眺めているが、ブリークマンには目をくれる様子もなかつた。
ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 36 ページ

83181

He saw the personnel manager in a new light.
人事部長が別の姿で見えた。

ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 99 ページ

80122

More carefully examining the water witch, Jack saw that it had a face and vague limbs.

掌の上のものをよくよく見ると、顔と、手足らしいものがついている。

ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 38 ページ

64338

Yes, Mrs. Esterhazy was in touch with important happenings, and it made him uneasy just to know that, without hearing anything more.

そうだ、重大な情報は、必ずミセス・エスター・エイジイの耳に入るのだった。それを知つていれば、どうしてその先を聞かずにいられるだろう。

ディック著小尾英佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 49 ページ

17463

He could hardly make out the meaning of some of the Auditor Speaks Back articles, they were phrased in such special jargon.

「世論は論駁す」の記事は、特殊な言いまわしを使ったものがあつて、意味をくみとりかねた。

ディック著小尾美佐訳『火星のタイム・スリップ』ハヤカワ文庫 26 ページ

文 献

[1] Megumi Kameyama, Ryo Ochitani & Stanley Peters, "Resolving Translation Mismatches With Information Flow," pp. 91-1025, 29th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics, ACL, 1991.

[2] Nami Fukutome & Yasunari Harada, "Flavor Wheel Terminology and Challenges in Translation: Focusing on English and Japanese Vocabulary for Wine, Sake and Soy Sauce," Proceedings of the 32nd Pacific-Asia Conference on Language, Information and Computation, 2018 年 12 月 1 日.

[3] Philip K. Dick, *Do Androids Dream of Electric Sheep?*, Doubleday, New York, 1968.

[4] Philip K. Dick, *Martian Time-Slip*, Ballantine Books, 1964.

[5] Philip K. Dick, *Clans of the Alphane Moon*, Ace Books, 1964.

[6] Philip K. Dick, *Dr. Bloodmoney, or How We Got Along After the Bomb*, Ace Books, 1965.

[7] Ray Bradbury, *Fahrenheit 451*, Ballantine Books, October 19, 1953.

[8] レイ・ブラドベリー, 南井慶二訳, 「華氏四五一 度」最新科学小説全集, 元々社, 1956 年 6 月.

[9] レイ・ブラッドベリー, 宇野利泰訳, 「華氏 451 度」ハヤカワ・SF・シリーズ 3065, 早川書房, 1964 年 3 月.

[10] ノーマン・スピルラッド (著), 久保 智洋 (翻訳), 「はざまの世界」(サンリオ SF 文庫), サンリオ, 1981/10.

[11] フィリップ K. ディック (著), 小尾 美佐 (翻訳), 「火星のタイム・スリップ」(ハヤカワ文庫 SF 396) 文庫, 早川書房, 1980/6/1.

[12] ロバート・A・ハインライン著, 小尾美佐訳, 「夏への扉 (新訳版)」, 早川書房, 2009/08/07.

[13] 国立国語研究所資料集 14 『分類語彙表: 増補改訂版』, 大日本図書, 2004 年 1 月発行.

[14] Denis Villeneuve (director), *Arrival*, Paramount Pictures, 2016

[15] Peter Bogdanovich, *The Last Picture Show*, Columbia Pictures, 1971.

[16] Ridley Scott (director), *Blade Runner*, Warner Brothers, 1982.

[17] Richard L. Bare, *To Serve Man*, The Twilight Zone, Season 3, Episode 24, March 2, 1962.

[18] Finger Pointing to the Moon - Bruce Lee, <https://www.youtube.com/watch?v=LH1GFaw09hk>

[19] 野口聰一氏が語る宇宙飛行士の歴史。「地球は青かった」「私はカモメ」「人の搖籃」の意味, Hirotaka Totu, Engadget 日本版, 2014 年 8 月 30 日. <https://japanese.engadget.com/2014/08/30/astronauts/>

[20] ワレンチナ・テレシコワ <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AF%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%83%81%E3%83%83%8A%E3%83%BB%E3%83%86%E3%83%AC%E3%82%B7%E3%82%B3%E3%83%AF>

[21] トマト, フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%88%E3%83%9E%E3%83%83%8A>

[22] 出世魚, フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%87%BA%E4%B8%96%E9%AD%9A>

[23] 魚介類, フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AD%9A%E4%B8%8B%E9%A1%9E>

[24] イルカ, フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%83%83%AB%E3%82%AB>

[25] 鯛, フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AF%9B>

[26] ティラピア, フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%83%86%E3%83%82%A3%E3%83%83%94%E3%82%A2>

[27] フォース (スター・ウォーズ), フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%83%BC%E3%82%B9_\(%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%BB%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%83%BC%E3%82%BA\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%83%BC%E3%82%B9_(%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%BB%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%83%BC%E3%82%BA))

[28] 夏への扉, フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%87%8F%E3%81%AE%E6%9C%80>

[29] Seafood, Wikipedia, the free encyclopedia <https://en.wikipedia.org/wiki/Seafood>

[30] Natural satellite, Wikipedia, the free encyclopedia https://en.wikipedia.org/wiki/Natural_satellite

[31] The Force, Wikipedia, the free encyclopedia https://en.wikipedia.org/wiki/The_Force

[32] To Serve Man (The Twilight Zone), Wikipedia, the free encyclopedia [https://en.wikipedia.org/wiki/To_Serve_Man_\(The_Twilight_Zone\)](https://en.wikipedia.org/wiki/To_Serve_Man_(The_Twilight_Zone))

[33] James Whitcomb Riley, *Our Hired Girl*, Poetry Foundation <https://www.poetryfoundation.org/poems/44954/our-hired-girl>

[34] "Experiences of a 'Hired Girl': An Early Twentieth-Century Domestic Worker Speaks Out," *History Matters*, The U.S. Survey Course on the Web <http://historymatters.gmu.edu/d/5323>

[35] 聞きなれない食材の英語シリーズ (2) red snapper と grouper [https://blogs.yahoo.co.jp/advamed2008/21645272.html/](https://blogs.yahoo.co.jp/advamed2008/21645272.html)

[36] 【補足】red snapper は「鯛」でしょうか? <https://blogs.yahoo.co.jp/advamed2008/21686899.html>

[37] 事実は小説より喜なり - 書評 - 夏への扉 [新訳版], 小飼弾, <http://blog.livedoor.jp/dankogai/archives/51265089.html>